

1 文献名
『高茶屋小学校創立百周年記念誌 高茶屋の歩み』
2 学校名
高茶屋小学校
3 災害名
昭和 19 年（1944 年）東南海地震
4 記述の概要
(1) 雨や風、地震などの様子
相川の川口から、約 30cm ぐらい、海水が盛り上がり逆流してきた。(P30) 小規模ながら津波の被害もあった。(P182)
(2) 学校内や地域の被害の状況
防火用水の水がすごく流れ出した。(P29) 終戦を前後しての地震で地盤沈下がひどくなり、樋門が損傷したため、直接塩害を こおむる水田が多くなった。(P188)
(3) 復旧の様子
(4) 体験談
学校の帰路、突然地面がゆれ出し、道路にへばりついた。家に帰ると、家中大混乱 であった。(P30)
(5) 教訓など
戦局の不利に加えた被害の大きさが、住民を不安に落とし入れることを恐れ、報道管 制が敷かれ、その実態は知らされなかった。(P29、183)
(6) その他